



ジョージ・リンチ・スタイトの を注エッセンスか マスターできるCD日本日

> 東京和田名サウンド・メイク・カイドでの キタースコアを4番は日 Tilestoin The Mele

TUnchain The Night J Fit's Not Love J FWicked Sensation J FRiver Of Love J

## GEORGE LYNCH Vol.2

ヤング・ギター[エクストラ]ージョージ・リンチ奏法 Vol.2~

COLUMN CONTRACTOR CONTRACTOR LA COLUMN CONTRACTOR CONTR



# Chapter



### ジョージ・リンチ奏法の エッセンスが凝縮された エクササイズ・フレーズ集

Chapter 1 では、ジョージ・リンチ奏法ならではのフラッシーなギター・スタイルを体感してもらうべく、リフ/コード・ワーク/ソロといった各プレイ・タイプにおける特徴的なフレージングに基づいてエクササイズ譜例を用意してみた。付録CDのデモ音源を参考にしながら、インスパイアに富んだ"巨匠"スタイルの完全攻略を目指して欲しい。

Chapter 1 (Ex-1~Ex-12) の譜例解説は付録 CDの Track No.1~15に連動しています。それぞれのトラック内容は以下の通りです。各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。

※CD音源で聴けるEx-1~Ex-12は半音下げチューニングでプレイしています。

#### 各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック

pic : William Hames



リフ・エクササイズ Ex-1の例題音源 (ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-2の例題音源 (ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-3の例題音源 (ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-4の例題音源 (ノーマル・テンポ)



リフ・エクササイズ Ex-5の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-6の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-7の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-8の例題音源 (ノーマル・テンボ)



ソロ・エクササイズ Ex-9の例題音源 (ノーマル・テンポ)



**ソロ・エクササイズ Ex-10の例題音源** (ノーマル・テンポ)



**ソロ・エクササイズ Ex-10の例題音源** (スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-11の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-11の例題音源



**ソロ・エクササイズ Ex-12の例題音源** (ノーマル・テンポ)



**ソロ・エクササイズ Ex-12の例題音源** (スロー・テンボ)



Ex-1の5弦開放はペダルとしての持続音なの で、その他の音をアクセント(強拍)でプレイす るようにしよう。その中でも4弦7fのシンコ ペーションと2、4小節3拍目の4弦5fは特に 強めにピッキングすること。さらに、2小節3 ~4拍目にある中指でのスライドがモタらない ように気を付けよう。

Ex-2は、パワー・コードのスライド後に3弦 の音が消えてしまわないよう押弦を確実に! 3 小節目はadd9の9thに相当する2弦3fまで充 分強くピッキングしつつ、ミュートが不安定に なりがちな1弦はピッキングしないこと。

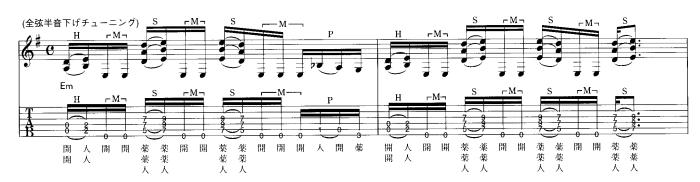
#### Ex-1 5弦開放を巧みに絡ませた単音リフ・エクササイズ

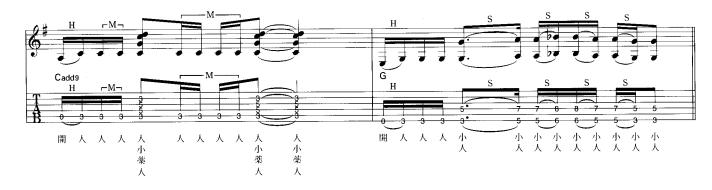
CD Track No.1 ノーマル・テンポ



#### Ex-2 add9の活用で巨匠テイストを醸し出すリフ・エクササイズ

CD Track No.2 ノーマル・テンポ









Ex-3は、まず16分のシャッフル・リズムに身体を順応させることが肝心だ。3連符に近いくらいまでハネてしまうと、重いグルーヴ感が出せないぞ。8小節目ではH&Pではなく、あえてスライドを使うのがジョージ流となる。その連続プレイ部分では正確な符割に則った弾き

#### こなしを目指そう!

Ex-4は、2小節目でも1小節目の6~4弦の和音を鳴らし続けてこそ、ハイ・テンションな響きが得られるが、5弦5fを離さずに中指でジョイントするのは意外にも大困難。2、3弦を人差指にすると楽だが…。

#### Ex=3 連続複弦スライド部分に要注意のリフ・エクササイズ

CD Track No.3 ノーマル・テンポ

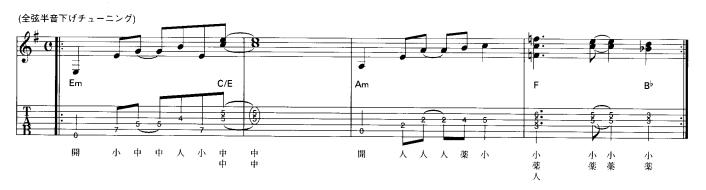






#### Ex-4 運指面に難ありのクリーン・アルペジオ・リフ・エクササイズ

CD Track No.4 ノーマル・テンポ





Ex-5の1小節目は1弦8fを押さえた状態で、 2&3弦がきれいに鳴り続けているかが最大の ポイント。単なるストレッチでは2弦開放に触 れてしまうので、人差指を十分に立てて3弦4 fを押さえなくてはいけない。よほど小柄で手の 小さい人以外は、ストレッチの訓練次第で克服 可能なはず。どうしても指定の運指では難しい 場合は、3弦4fの代わりに4弦9fを使う手も

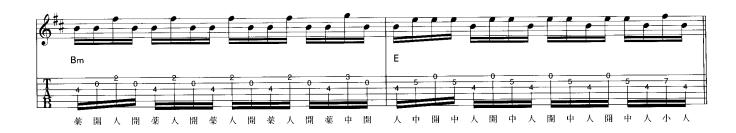
ありだが、そうすると右手のピッキング面に難 を生じるかも…。

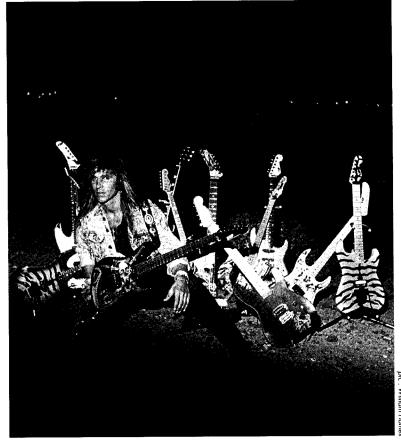
ピッキングはエコノミー…と言いたいところ だが、ジョージ流に則れば、ここはオルタネイ トとなる。全体にアルペジオだが、ソフトなピ ッキングでは単なる和音のようなサウンドにな ってしまう。総て軽めのアクセント…ぐらいの 気持ちで1音1音のアタックをクリアに出そう。

#### Ex-5 異弦同音を絡めたアルペジオ・リフ・エクササイズ

CD Track No.5 ノーマル・テンポ









#### Ex-6は2本弦上でのコード・アルペジオ・フ レーズ。 1、3小節目のようにジョイントで押さ

レーズ。1、3小部店のようにジョイントで押さえる部分は、2音が同時に鳴って和音にならないように人差指の先端で4弦を押さえて、腹の部分で3弦をミュートする状態と、人差指の腹で3弦を押さえて、その先端を軽く浮かせて4弦をミュートする状態を素速く切り替えよう。

#### 2小節目のような場合も、各音を発音し終わ

ったら次の音をピッキングすると同時にミュートして、1音1音をクリアに鳴らすことが大切だ。エコノミー・ピッキング練習用エクササイズにもなるフレーズだが、ここもやはりオルタネイトで弾き切るのがジョージ流となる。エコノミーとはグルーヴ感が一味違うはずだ。

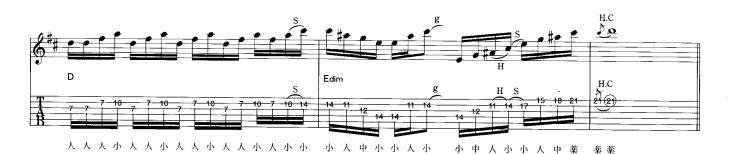
#### Ex-6 コード・トーンで構成されたソロ・エクササイズ

CD Track No.6 ノーマル・テンポ

(全弦半音下げチューニング)









まずはEx-7のリズムだが、アクセントが総て 2拍3連の裏の感覚になっている点に注目。 2拍単位の「ツタツタツタ」という感覚を延々とキープできるようになるまでリズムを聴き込もう。全体にストレッチとなるが、人差指で5fを押さえたまま総てを弾き切るような練習が効果的だろう。 2小節目のヴィブラートもほぼそのままのフォームで掛けるわけだ。

**Ex-8**の前半3小節はEx-7とほぼ同じ。4小 節1、2拍目は4弦9fを3弦4fに置き換えても 同じメロディーなのだが、この方がフレーズの流れが圧倒的に良い。難易度よりも音楽性やサウンドを優先するのがジョージ流のアプローチなのだ。5小節目からは、ディミニッシュ・アルペジオをスキッピングでプレイ。1、2拍目のパターンのまま上昇していかないとろこがミソ。7小節目1弦22fの1音及び1音半チョーキングは薬指に置き換え可能で、その方が合理的なのだが、ジョージ級ギタリストを目指すなら小指でトライすべし。

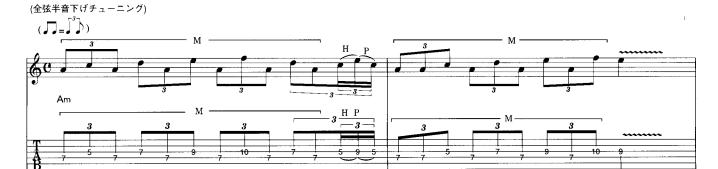
#### Ex-7 ストレッチを活用した巨匠流ソロ・エクササイズ

ıþι

CD Track No.7

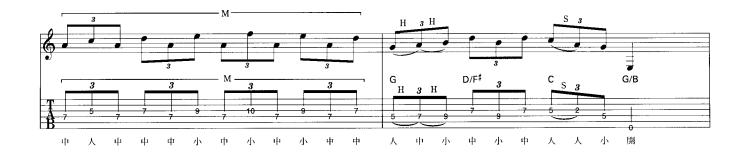
小

ノーマル・テンポ



人小人

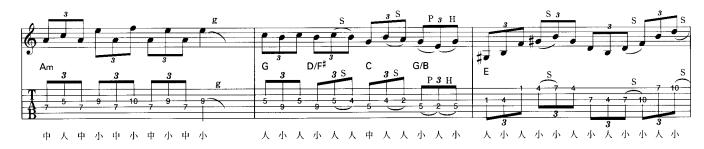
中中

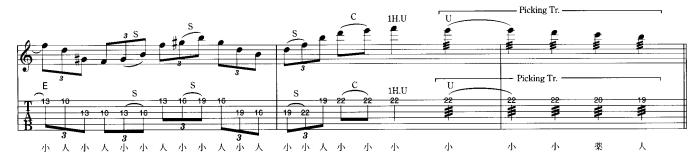


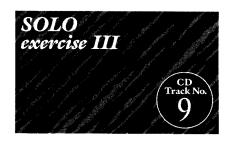
#### Ex-8 巨匠流のディミニッシュ活用によるソロ・エクササイズ

CD Track No.8 ノーマル・テンポ







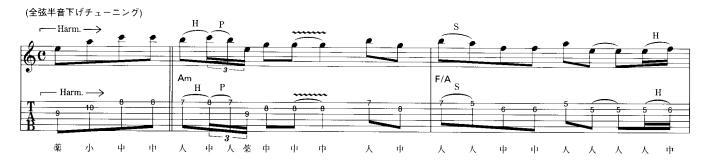


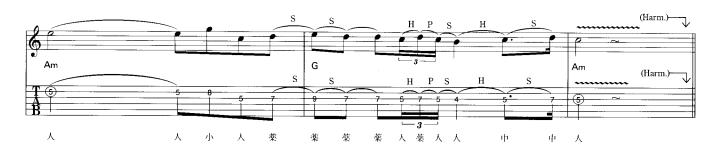
Ex-9は右手の指によるハーモニクスを混ぜな がら、各音をピッキングしていくプレイ。例え ば1音目の3弦9fは、左手は普通に押さえ、 その12 f上となる3弦21fのフレットの真上に 人差指の先端で軽く触れながら親指でピッキン グする。以降同様に、総てのポジションの12f 上を右手人差指でタッチしながらピッキングす るわけだ。全音完璧なハーモニクスを目指す必

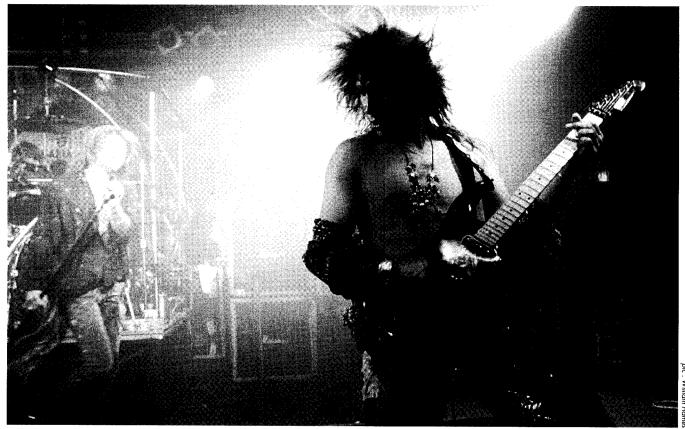
要はないが、ギターによってはハーモニクス・ ポイントが微妙にずれていることがあるので、 その辺の微調整もできればより確実性が増すだ ろう。ハンマリングやスライドなどを併用する と、ハーモニクスが止まって実音になってしま うので、こういった場面の1音目は予め強めに ピッキングし、フィンガリングを強めに行なっ て音量を稼ごう。

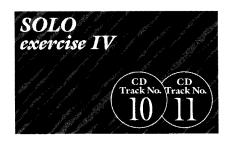
#### Ex-9 タッチ・ハーモニクス奏法を交えたソロ・エクササイズ

CD Track No.9 ノーマル・テンポ









Ex-10の1小節目の8分3連と2小節目の6連符の頭は、それぞれアップ/アップ/ダウンのエコノミー・ビッキングでプレイする。オルタネイトでもプレイ可能だが、ニュアンスとフレーズの流れがジョージ流とは別モノになってしまう。エコノミーならではの"ひと息"で弾き切る感じが大切だ。

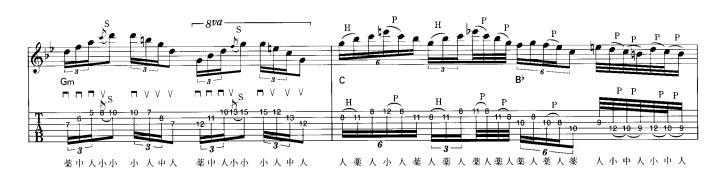
3小節目の5弦14fと6小節目の4弦9fのB

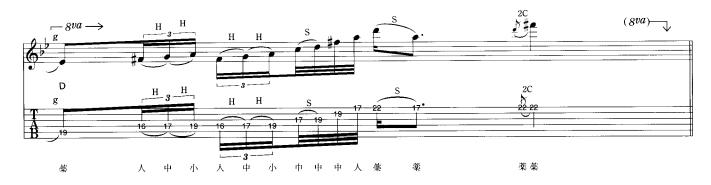
音は、コードを考慮すると本来Bbであるべきだが、即興味を重視するならこのままでもOK。特に6小節目の方はテンション解釈も可能で(b9th)、独特の緊張感が醸し出されている。最後の2音チョーキングは、ソロのエンディングだけにピッチが重要。まずは1弦14fのF#音の音程を確認してから、その1オクターヴ上の音程に向かって一気に1弦22fを押し上げよう。

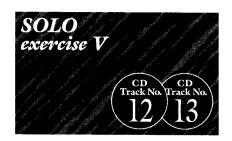
#### Ex-10 エコノミー・ピッキングが肝となるソロ・エクササイズ CD Track No.10 ノーマル・テンポ CD Track No.11 スロー・テンポ







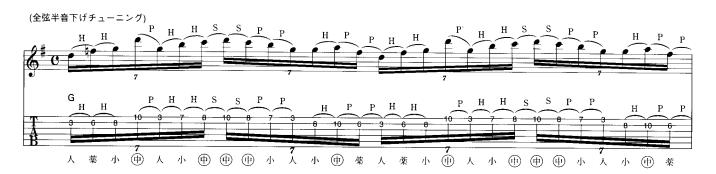


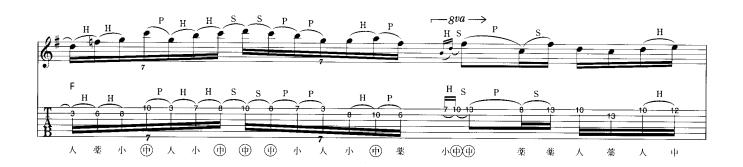


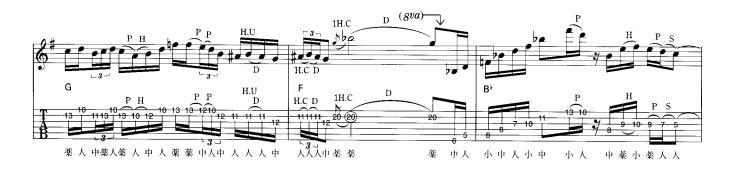
Ex-11 前半のタッピングは、1小節1、2拍目のフレーズを3回繰り返すわけだが、左手のストレッチ・フォームは尋常ではない。最初の3音がスムーズに鳴るまで、先に進むのはお預けだ。2弦6fは薬指となっているが、中指の方が楽だと言う人は好みで決めればよいだろう。7連と記譜しているが、実際は2拍14連の感覚で2拍内に収まれば問題ないだろう。

続くタッピング&スライドは、スライドを意識し過ぎると力みがちだ。押弦する指が弛みさえしなければよいので、通常のタッピングと同じ強さで行なうこと。4、5小節目は、B<sup>b</sup>トライアド(3和音)のアルペジオを3オクターヴに渡って平行移動。ポジション移動時の音切れに注意だ。

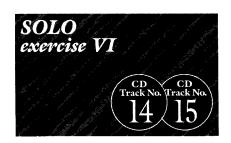
#### Ex-11 超難解なストレッチ・タッピング・ソロ・エクササイズ CD Track No.12 ノーマル・テンポ CD Track No.13 スロー・テンポ











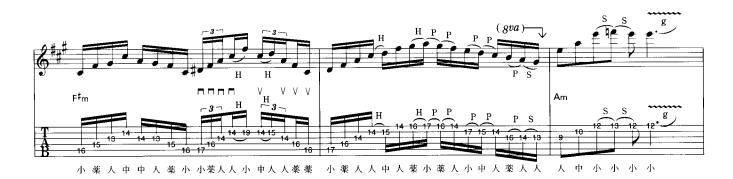
Ex-12ではテクニック云々以前に、ソロを構成する際のフレーズの緩急の付け方に注目。「テクニックは、緩と急のダイナミクス=落差を大きくするためにあり!」と、このフレーズが語っている。5小節4拍目の4弦14fは、薬指のジョイントで弾いてしまいそうな音だが、ここを人差指で押さえることによって音切れなくスムーズなフレージングが可能となるわけだ。

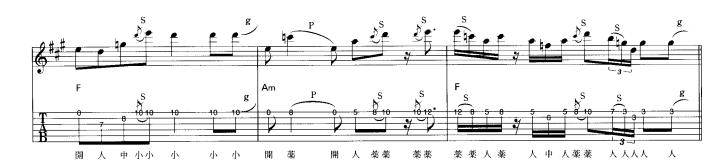
7~8小節目はコード・トーン・アルベジオの連発だが、7小節目の最初の2拍と8小節目の最初の1拍はオルタネイトでピッキングする。7小節3拍目はダウンで上昇、アップで下降する。このピッキングの使い分けによって独特のグルーヴ感を形成しているので、必ずこの方法でトライして欲しい。12小節目最後はスライド(!)によるアルベジオだ。

#### Ex-12 オルタネイト&エコノミー混在によるソロ・エクササイズ CD Track No.14 ノーマル・テンポ CD Track No.15 スロー・テンポ



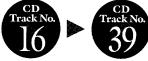








# Chapter /



### ジョージ・リンチ流の リフ&ソロ・アプローチに 則した例題エクササイズ

Chapter 2では、巨匠ジョージ・リンチ流ならではの リフ・メイク法やフレーズ構成術を学んでもらうべく、 リフ/バッキング/ソロの各アプローチ・パターンを 総合的に盛り込んだ例題曲を用意してみた。 以下の練習素材をフルに活用してもらいながら、 リンチ奏法のさらに深い理解と習得を目指して欲しい。

Chapter 2 (Ex-1~Ex-11) の譜例解説は付録CDのTrack No.16~39 に連動しています。 それぞれのトラック内容は以下の通りです。各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。 ※CD音源で聴けるEx-1~Ex-11 は半音下げチューニングでプレイしています。

#### 各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック



リフ・エクササイズ Ex-1の 例題音源

(ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-2の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-3の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-4の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-5の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-6の例題音源 (ノーマル・テンポ)



オブリガート・エクササイズ Ex-7の例題音源 (ノーマル・テンポ)



オブリガート・エクササイズ Ex-7の例題音源 (スロー・テンポ)



オブリガート・エクササイズ Ex-8の例題音源 (ノーマル・テンポ)



オブリガート・エクササイズ Ex-8の例題音源 (スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-9の 例顕音源

(全体のノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-9の 例題音源

(上段ハーモニー・バートのみのノーマル・テンボ)



ソロ・エクササイズ Ex-9の 例題音源 (下段メイン・パートのみのノーマル・テンポ)

ソロ・エクササイズEx-9の 例題音源 (全体のスロー・テンポ)

ソロ・エクササイズ Ex-9の 例題音源

(上段ハーモニー・バートのみのスロー・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-9の 例題音源 (下段メイン・パートのみのスロー・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-10の 例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-10の 例題音源

(スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-11の 例題音源

(ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-11の 例題音源

(スロー・テンポ)

#### 練習用カラオケ・トラック



ソロ・パート(Ex-9~Ex-10)の ギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)



ソロ・パート(Ex-9~Ex-10)の ギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



オール・パート(Ex-1~Ex-11)の ギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)



オール・パート(Ex-1~Ex-11)の ギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



F#マイナーのトニック・コードF#mを核にダイアトニック・コードを織り交ぜた比較的オーソドックスなコード進行で構成されているが、各コード内での音使いを工夫することによって、多彩な場面転換を行なっている。イントロ圏やテーマ[②では、F#mの5th (C#音)を半音下げ

て(C音) b5thの緊張感を出し、逆に回ではルートF#に対してA#音使って、いきなりF#メジャーのコード感に展開している(前後関係からコード・ネームはマイナーとなる)。こうした部分と回のような5度進行系部分との対比がメリハリを生む、というわけだ。

A N.C.		$\ _{4}^{2}$	1				
B  :4 F <sup>#</sup> m	A	F <sup>#</sup> m	1. B A	2. :  EB/D♯ B	m/D		
C   : F <sup>#</sup> m		F <sup>‡</sup> m7 E	F <sup>‡</sup> m7 E	F <sup>#</sup> m		F <sup>#</sup> m7 E	F <sup>#</sup> m E
D F <sup>#</sup> m	АВ	F <sup>‡</sup> m7 E	F <sup>‡</sup> m7 E	F <sup>#</sup> m		A B  F <sup>‡</sup> m7E	F <sup>#</sup> m7 AB
E D A/C <sup>#</sup> A	В	A E/G <sup>‡</sup>	E F <sup>#</sup> m	D		Cadd9 to ∯	$\begin{vmatrix} 2 \\ 4 \end{vmatrix}$
% F  4 F <sup>♯</sup> m	A   F#	m	BA   F <sup>#</sup> m	A	F <sup>#</sup> m	1.  E B/D <sup>#</sup> Bm/D	2. E B/D <sup>#</sup> Bm/D
G Em F	G A	B C#	1. D A/C#	□2. : D A/C	# ]		
H F <sup>#</sup> m	E	F <sup>#</sup> m	Α	F <sup>#</sup> m	E	F <sup>#</sup> m	A
F <sup>‡</sup> m	E	F <sup>#</sup> m	Α	F <sup>#</sup> m	E	F <sup>‡</sup> m	ВА
<u>I</u> ∥: F <sup>‡</sup> m		A/F <sup>#</sup>		<u>: </u>			
J F <sup>#</sup> m	A	В				⊕ Coda  D.S.	B/D <sup>#</sup> Bm/D
K F <sup>‡</sup> m	A	F <sup>#</sup> m	ВА	F <sup>#</sup> m	A	F <sup>#</sup> m	ВА
F# B	A E B/D‡	•	Tempo	ا	= <sup>#</sup> m7		F# <sub>7</sub> (#9)
<u> </u>	, L U/U	ו ון טיווט		<u> </u>	1117	1	. ,



Ex-1 の冒頭はブレイクを挿んでのキメとなる わけだが、バンドで演奏する際には、イン・テ ンポではなく、ドラマーの左足やアクションを きっかけに、2小節目のキメからイン・テンポ にする方がスリリングだろう。

1~4小節は、3弦の5thから♭5thへの動き とトップ・ノートのF#音がポイントなので、4 ~2弦をやや強めで均一にピッキングしよう。 2、3小節目は16分のシンコペーションを正確 に行なうこと。それには2小節目の16分休符や 3小節2拍目裏のシンコペーション直前の6弦 開放など、オン・ビートをジャストで取ること が大切だ。2.カッコは、全体がE7のようなフ ィーリングで捉えよう。

#### 6弦F#音を軸に和音変化を交えた Ex-1 リフ・エクササイズ

CD Track No.16 ノーマル・テンポ

CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)







Ex-2の1、2小節目と3、4小節目は、セッティングの異なるクリーンとクランチでプレイしている。クリーンはコンプレッサー&コーラスをオン。クランチの方はEx-1とほぼ同じ音色で、ギター側のヴォリュームを絞って歪みを減らし、シングルコイルP.U.のハーフトーンを使う。

3、4小節3拍目へのシンコペーションは、バ

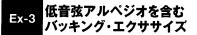
ンドではベース&ドラムと合わせる部分なので、全員が正確な16ビートに則り、シンコペーション直前のオン・ビートを「ン」と感じながらプレイすることが大切だ。その際に、例えば、メンバー同士が声だけで練習してみると、お互いのタイム感が把握できる…こんな方法も是非お試しあれ!





Ex-3の1小節目のアルペジオは完全な和音に するが、3小節目は順次指を浮かせて単音フレ ーズ気味にプレイする。2小節2拍目の裏は、 ブラッシングを軽く「チャカ」と入れる感じのピ ッキングで単音を弾くこと。3拍目の2和音は 目一杯のアクセントでプレイしよう。3小節3

拍目のシンコペーションは、低音域での3度積 み和音なので、6弦を引っ張り気味に押さえる などによってピッチが少しでも狂うと、濁って 汚い和音になってしまう。練習途中でこの和音 を長く伸ばしてみるなど、ピッチをチェックし ながら練習しよう。



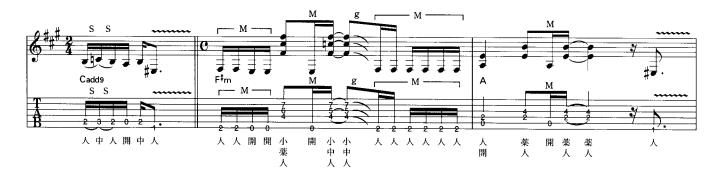
CD Track No.18 ノーマル・テンポ

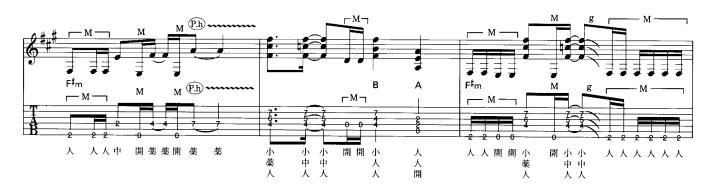
CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

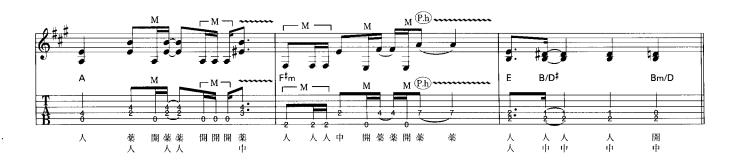
CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)













Ex-4は、譜面上ではシンプルなアルベジオに見えるが、不要弦からノイズが出てしまった場合のミュートがほぼ不可能なフレーズばかりなので、ここは細心の注意が必要だ。特に1小節目は、ここから弾き始める場合にはミス・ピッキングさえ注意すればよいのだが、曲中で前のフレーズから続けてプレイする場合には、5~

3弦の振動を確実に止めてから弾き始めないと 和音が濁ってしまう。

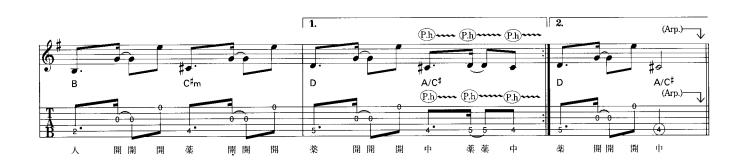
さらに、3、4小節目はミス・ピッキングが命取りとなる。少しでも隣接弦にピックを当てると、全く違うコードに聴こえることさえあるからだ。リズムが2拍3連風にならないように、16ビート感覚をキープすることも大事だ。

Ex-4 開放弦を多用した アルペジオ・バッキング・エクササイズ CD Track No.19 ノーマル・テンポ

CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)







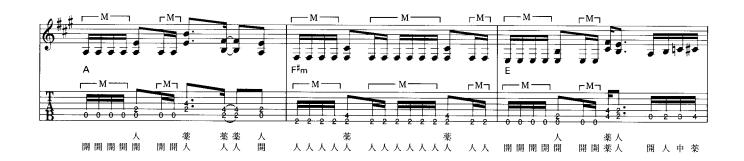
Ex-5の前半はオーソドックスなパワー・コー ド・リフなので、ブリッジ・ミュートとノン・ミ ュートのコードのメリハリを意識する程度で大 丈夫だろう。コード部がアクセントなので、16 分の連符は淡々と均一にピッキングしよう。

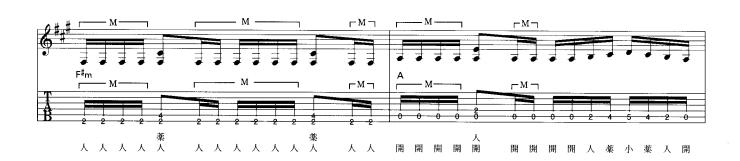
8小節目以降は2小節毎にフィル・インを挿 んでいる。10、14小節目のフィル・インは、一

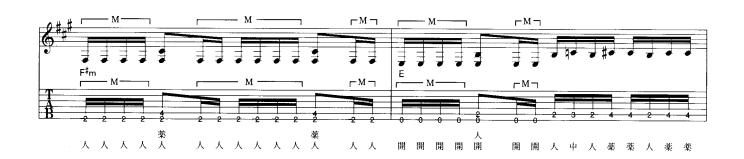
般的な指癖にはない音列なので、慣れるまでは 違和感が強くミスしがちだ。これらのフレーズ は、バッキングに変化を持たせるためのものな ので、メインのバッキングよりも強めながら、 リードの邪魔にならない強さで弾くことが大切 となる。

#### Ex-5 16分のタイトな刻みが肝のバッキング・エクササイズ





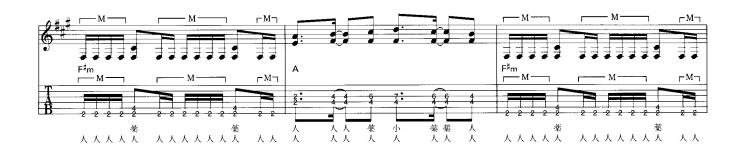


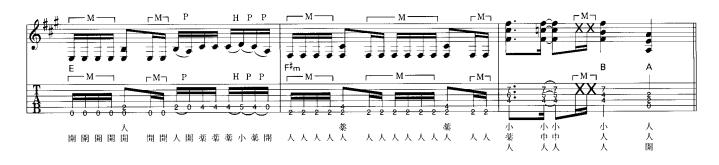


CD Track No.20 ノーマル・テンポ

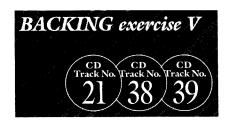
CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)









Ex-6の前半は、Ex-2と同じコンプレッサー&コーラスを掛けたクリーン・サウンドで弾く。最初の2小節は、2小節単位でクレッシェンド&デクレッシェンドするような気持ちで強弱を付けよう。2小節目のヴィブラートは、和音で尚かつクリーンなので、かなり大袈裟に掛けないと音に揺れが現れにくい。続く3小節目

のアーム・ヴィブラートのニュアンスにも注意 したいところだ。

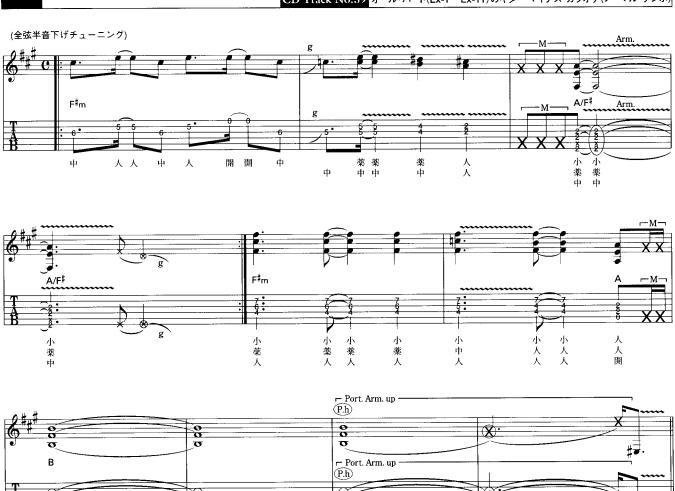
5小節目からは Ex-1 と同じディストーション・サウンドでプレイする。 9小節目は、パワー・コードをピッキング・ハーモニクスでピッキングし、ゆっくりとアーム・アップ。最後のキメのリズムにも注意されたし。

#### Ex-6 3弦の半音下降ラインが特徴的な バッキング・エクササイズ

薬薬人

菜人

CD Track No.21 ノーマル・テンポ
CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)
CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



來人

業薬人

薬

薬人



Ex-7の1小節目は、2弦開放ピッキング時の不要弦ノイズに注意。3~6弦は右手で確実にミュートしておき、2弦開放ピッキング後にアーム・バーを素速く握るようにしたい。2、3小節目はアーム・リターンの連続攻撃。アーム・ダウン時の音程変化を聴こえないようにしつつリターン音のみでリズムを表現するには、アームは素速く「グッ」と押すだけにし、リターンはバネの反発力に任せる感じにすると上手くいくはず。シンクロナイズド・タイプの場合は、小指

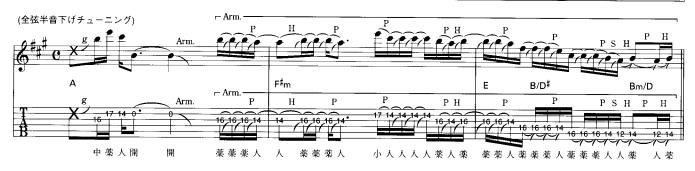
の付け根で強く押す感じだが、ロック式トレモロなら、小指の関節や薬指の先で「チョン」と押す程度でOKだ。

Ex-8 は連続プリングによる速弾きフィル・イン。トーナリティーやコード・フィーリングに完全対応させるなら、本来 2 弦 4 f (D#音) は3 f (D音) であるべきだが、こうした勢い重視の速弾きでは、あえてセオリーに無頓着である方が、よりギターらしいフレーズとなる場合が多々あることを覚えておこう。

Ex-7 細かなアーミングを絡めた オブリガート・エクササイズ CD Track No.22 ノーマル・テンポ CD Track No.23 スロー・テンポ

CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

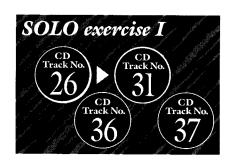
CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



Ex-8 連続プリングによる オブリガート・エクササイズ CD Track No.24 ノーマル・テンポ CD Track No.25 スロー・テンポ

CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

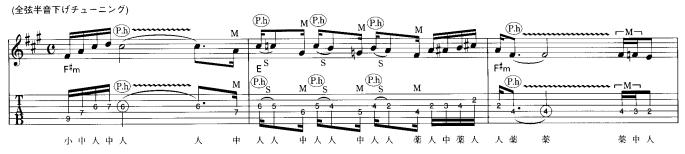
CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

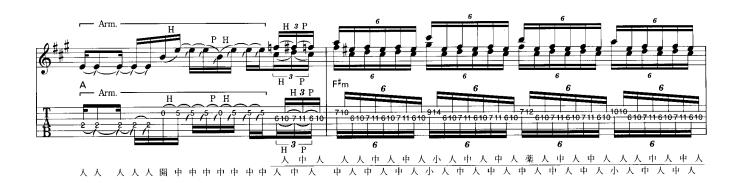


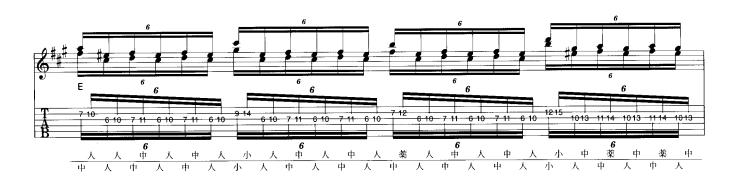
Ex-9の1小節目は、トニックF#mのブロークン・コードに近く、3小節目はF#mの3rdからルートへ解決するという、共に安定感のあるフレーズだ。そこに挿まれた2小節目は、クロマチック(半音進行)・アプローチによる非常に不安定かつテンションの高いフレーズとなっている。この山と谷、緩急の使い分けこそ、ジョージ・リンチ流ならではのドラマチックなフレーズ・メイクのコツなのだ。

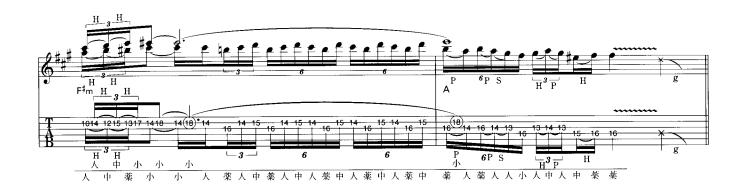
4小節目は、Ex-7同様のアーム・リターン・フレーズ。5小節目からのツイン・リードは、フレーズ自体の難易度は高くないものの、2本できれいにハモることが難しい。正確な6連のリズムを2小節間に渡ってキープしないと、スピードが速いだけにズレた部分が濁ってしまうのだ。自分のプレイをMTRでダビングしてチェックしてみるのが、最も効果的な練習方法となるだろう。

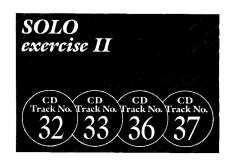












Ex-10で最初のヤマ場は4小節目。3小節目の1音半チョーキング時に、3弦も一緒に中指の下に潜り込ませて同時に押し上げ、その状態をキープして4小節目の3弦14fチョーク・アップ状態とするのだ。かなりのパワーが必要な上、3弦の押さえ方次第で音が出なかったり音程が甘くなったりする。ライヴなどの一発勝負の場面で3弦の音程が甘くなってしまったら、ヴィブラートを深めに掛けて誤魔化すという裏

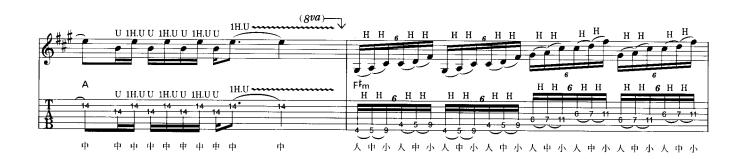
技もアリ。

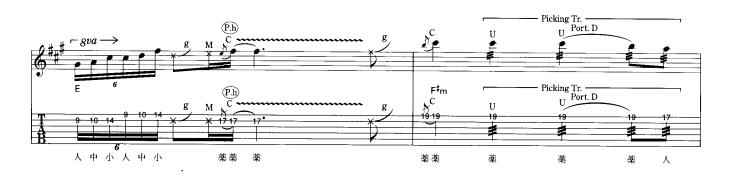
5小節目は、超ワイド・ストレッチでのレガート・フレーズ。これを攻略するためには、もうひたすらストレッチ幅を広げるトレーニングを続けてみるしかないのだが、コツをひとつだけ挙げるとすれば、6弦から5弦へ移動した時に、人差指をジョイント気味にせず、指の先端でフレット端のギリギリの位置を的確に押さえること…となる。

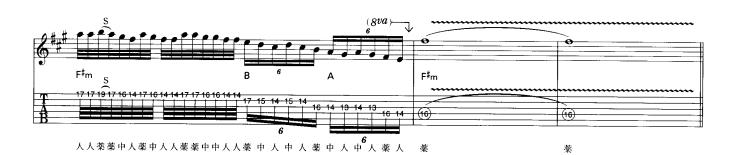
Ex-10 超ワイド・ストレッチを含む 巨匠流速弾きソロ・エクササイズ CD Track No.32 ノーマル・テンポ CD Track No.33 スロー・テンポ CD Track No.36 ソロ・パート(Ex-9~Ex-10)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)

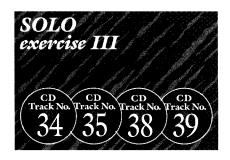
CD Track No.37 ソロ・パート(Ex-9~Ex-10)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)











使用するポジションは、1弦14、16、17fと2弦17fのみで、フレーズのどの部分も決して難しくはない。にもかかわらず、曲の流れの中で正確かつきれいに弾き切るのは非常に難しいという、ジョージ流ならではの不思議なフレーズ例がEx-11のソロ。そんな難しさの要因は、上がるのか下がるのかといった目標が感じられないことと、フル・ピッキング・フレーズなのに同弦同音を2回連続で弾く部分が多いことだ。

このようなフレーズを思いつくこと、指癖として身に付けていること、理解不能ながら何故か格好いいこと、それらが合わさって個性となり凄さともなるわけだ。練習方法としては、1拍単位の細かいフレーズに区切り、各拍毎に順にマスターするしかないだろう。短くも巨匠味が濃厚なこのフレーズで、ジョージ流特有のグルーヴ/流れ/ニュアンスを、各自でみっちりと研究・分析しておこう。

#### Ex-11 人差指の高速スライド移動を絡めた ソロ・エクササイズ

CD Track No.34 ノーマル・テンポ CD Track No.35 スロー・テンポ CD Track No.38 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ) CD Track No.39 オール・パート(Ex-1~Ex-11)のギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)

